

帝王切開後の瘢痕部に着床した胎 嚢内膜掻爬術前の予防的な止血術

那須赤十字病院放射線科

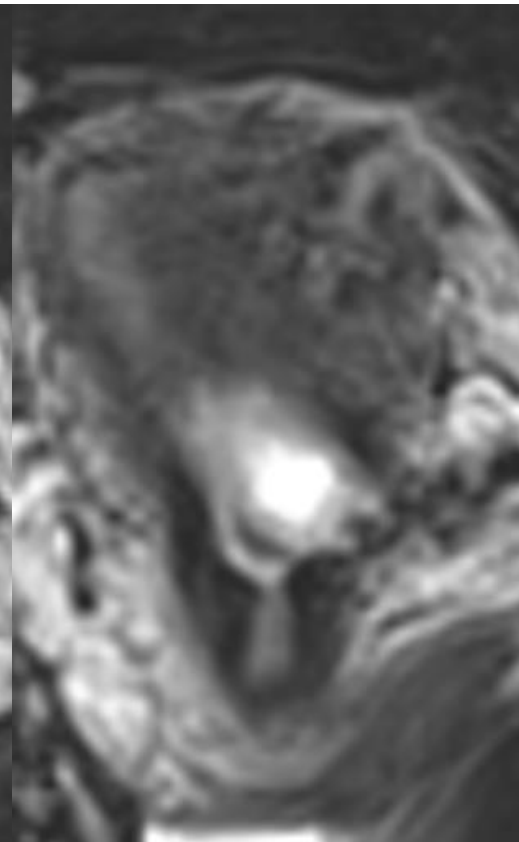
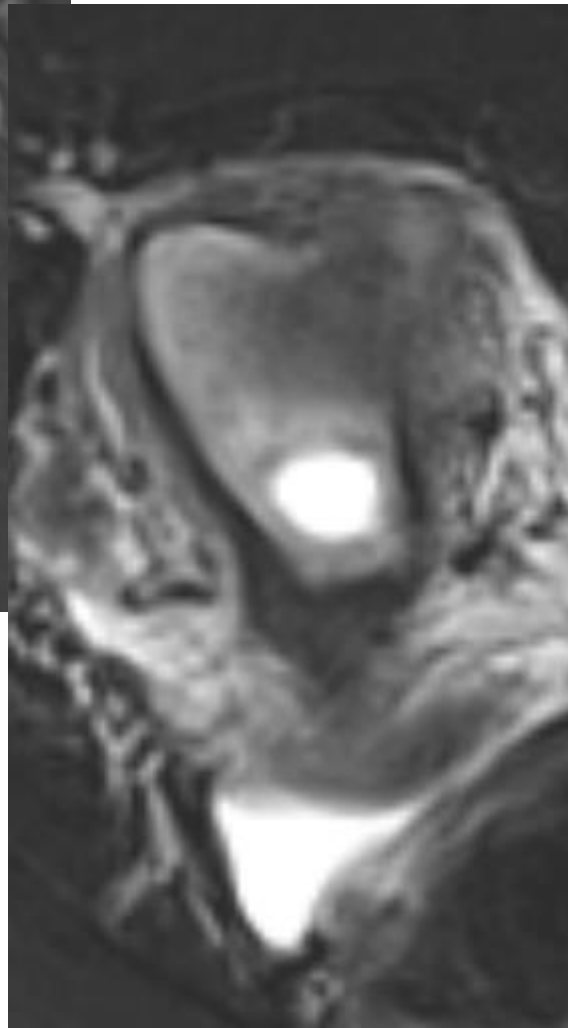
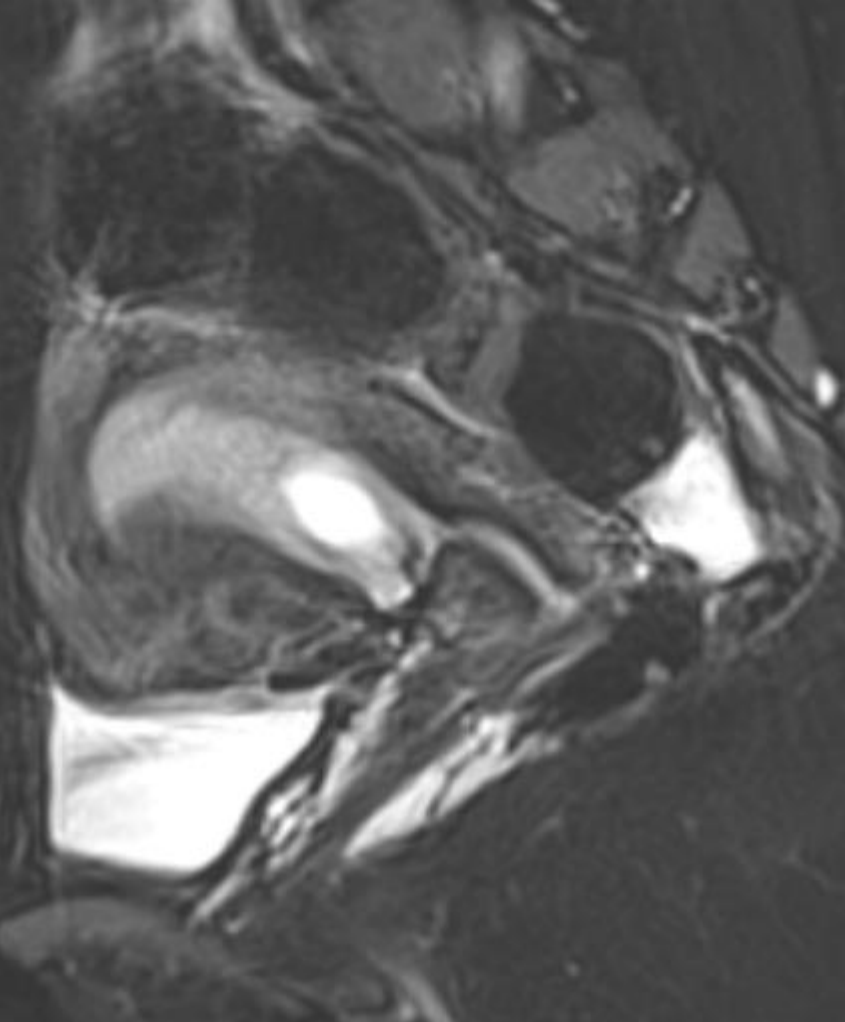
水沼仁孝

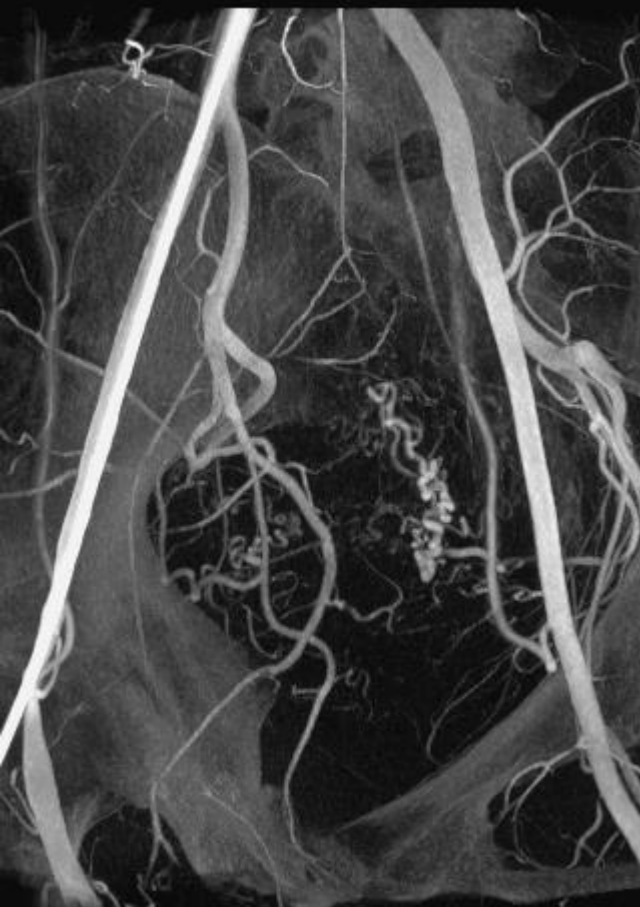
38F

- 8/24 妊娠反応陽性にてクリニック受診
帝王切開瘢痕部妊娠疑
- 8/27 当院受診



8/30 STIR Sg/Ax

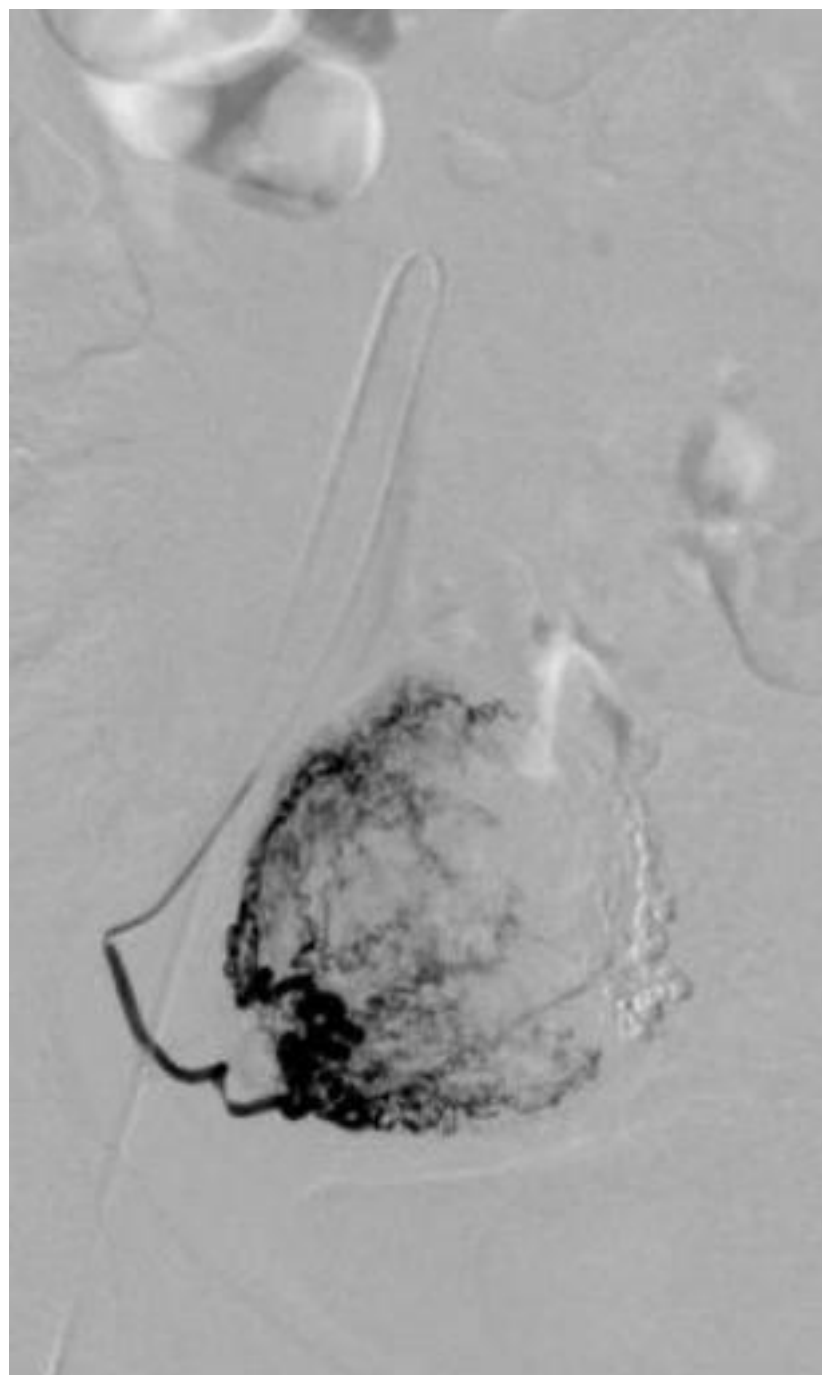




Spin: 40
Tilt: 0



Spin: 40
Tilt: 0



帝王切開後の癒痕部に着床した 胎嚢内膜搔爬術前の予防的な止血術

- 右大腿動脈より5.5Frロングイントロデューサーを挿入。
- 回転DSAを施行。左右の子宮動脈分岐部を同定。
- C2コブラ型カテーテルを左内腸骨動脈に誘導、更に左子宮動脈に挿入。造影にて子宮左側が造影され、且つ左卵巢動脈も描出された。卵巢動脈の分岐は子宮体部から底部に近いところにあり、区分けは難しいため親カテーテル先端をやや奥に突っ込み、ゼラチンスポンジ細片1/2枚をもって塞栓。
- 次に親カテーテルをロングイントロデューサーにて腹部大動脈まで押し込み、ループを形成させ右内腸骨動脈を選択。
- やはり右子宮動脈を選択、造影にて確認後ゼラチンスポンジ細片1枚をもって塞栓。

- 翌日、子宮内容除去術施行
- その翌日、退院

